

## 平成16年度病害虫発生予察 予報第1号

平成16年4月16日  
長崎県病害虫防除所長

【気象（平成16年4月9日発表 1か月予報 福岡管区气象台）】

九州北部地方では、天気は数日の周期で変わるでしょう。  
向こう1か月の気温は平年並か高く、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。  
週別の気温は、1週目は平年並か高く、2週目は平年並、3～4週目は平年並でしょう。

要素別確率 単位（％）

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	20	40	40
降水量	30	40	30
日照時間	30	40	30

\* 予報対象地域：九州北部地域

## 平成16年度病害虫発生予察 予報第1号

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

【予報の概要】

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
早期水稲	イネミズゾウムシ	-	並
麦類	さび病 うどんこ病 赤かび病 アブラムシ類	並 並 並 やや少	並 並 並 並
ばれいしょ	疫病 アブラムシ類	並 やや少	並 並
トマト	灰色かび病 葉かび病 コナジラミ類	並 やや多 並	並 やや多 やや多
いちご	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類	並 やや少 少 やや多	並 やや少 やや少 多

農作物名	病害虫名	発生程度	
		現況	予想
かんきつ	そうか病 かいよう病 ミカンハダニ	- やや多(旧葉) 並	やや少 やや多 並

なし	赤星病 アブラムシ類	並 やや少	並 並
茶	カンザワハダニ (注意報第1号) クワシロカイガラムシ (注意報第2号)	多  やや多	多  やや多

【早期水稻】 ( )内は平年値 [以下同じ]

1. イネミズゾウムシ

1) 予報内容

発生程度 並

2) 予報の根拠

(1) 昨年は平年よりやや少ない発生であった。

(2) 向こう1か月の気温は平年並が高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

【麦類】

1. さび病

1) 予報内容

発生程度 並

2) 予報の根拠

(1) 4月上旬の巡回調査の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

(2) 4月3半旬の県予察圃場(無防除、諫早市)調査の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

2. うどんこ病

1) 予報内容

発生程度 並

2) 予報の根拠

(1) 4月上旬の巡回調査の結果、大麦、裸麦では発生を認めなかった(発生を認めない)。小麦では発生茎率1.0%(2.3%)、発生圃場数は15筆中2筆であった。

(2) 4月3半旬の県予察圃場(無防除、諫早市)調査の結果、大麦、裸麦では発生を認めなかった(発生を認めない)。小麦では発生茎率4.0%(0.2%)であった。

3. 赤かび病

1) 予報内容

発生程度 並

2) 予報の根拠

(1) 4月上旬の巡回調査の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

(2) 4月3半旬の県予察圃場(無防除、諫早市)調査の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 出穂期以降、気温が高く降雨が続くと多発するので今後の気象の推移に注意し防除を徹底する。

(2) 発生を認めてからの防除では効果が劣るので予防散布に努める。

4. アブラムシ類

1) 予報内容

発生程度 並

2) 予報の根拠

(1) 4月上旬の巡回調査の結果、

大麦: 寄生茎率2.2%(4.9%)、1茎当たり虫数は0.1頭(0.2頭)、発生圃場数は9筆中4筆であった。

裸麦: 寄生茎率3.2%(13.8%)、1茎当たり虫数は0.1頭(1.0頭)、発生圃場数は6筆中4筆であった。

- 小麦：寄生茎率3.3%（3.4%）、1茎当たり虫は0.1頭（0.1頭）、発生圃場数は15筆中7筆であった。
- (2) 4月3半旬の県予察圃場（無防除、諫早市）調査の結果、  
 大麦：寄生茎率3.0%（3.8%）、1茎当たり虫数は0.1頭（0.1頭）であった。  
 裸麦：寄生茎率3.5%（8.7%）、1茎当たり虫数は0.1頭（0.3頭）であった。  
 小麦：寄生茎率3.0%（3.5%）、1茎当たり虫数は0.1頭（0.1頭）であった。
- (3) 向こう1か月の気温は平年並が高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

#### 【ばれいしょ】

##### 1. 疫病

###### 1) 予報内容

発生程度 並

###### 2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査の結果、発生を認めなかった（発病株率0.0%）。

##### 2. アブラムシ類

###### 1) 予報内容

発生程度 並

###### 2) 予報の根拠

(1) 4月上旬の巡回調査の結果、寄生株率は2.0%（9.7%）、発生圃場数は24筆中6筆であった。

(2) 向こう1か月の気温は平年並が高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

#### 【トマト】

##### 1. 灰色かび病

###### 1) 予報内容

発生程度 並

###### 2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査の結果、発病果率は1.7%（0.6%）、発生圃場数は12筆中4筆で、一部多発圃場があった。

##### 2. 葉かび病

###### 1) 予報内容

発生程度 やや多

###### 2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査の結果、発病株率は6.4%（4.2%）、発生圃場数は12筆中4筆であった。

##### 3. コナジラミ類（シルバーリーフコナジラミ、オシッココナジラミ）

###### 1) 予報内容

発生程度 やや多

###### 2) 予報の根拠

(1) 4月上旬の巡回調査の結果、寄生株率は3.5%（2.7%）、発生圃場数は12筆中5筆であった。

(2) 向こう1か月の気温は平年並が高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

###### 3) 防除上注意すべき事項

シルバーリーフコナジラミはトマト黄化葉巻ウイルスを媒介するので、黄化葉巻病発生圃場では密度低下をはかり、媒介虫の分散防止につとめる。

## 【いちご】

1. うどんこ病
  - 1) 予報内容  
発生程度 並
  - 2) 予報の根拠  
4月上旬の巡回調査の結果、葉、葉柄では発病株率0.6%(1.6%)、  
発生圃場数は27筆中6筆であった。果実では発病果率1.4%(0.3%)、  
発生圃場数は27筆中7筆であった。
  
2. 灰色かび病
  - 1) 予報内容  
発生程度 やや少
  - 2) 予報の根拠  
4月上旬の巡回調査の結果、発生を認めなかった(発病果率0.2%)。
  
3. アブラムシ類
  - 1) 予報内容  
発生程度 やや少
  - 2) 予報の根拠  
(1) 4月上旬の巡回調査の結果、発生を認めなかった(寄生株率は2.8%)。  
(2) 向こう1か月の気温は平年並か高い見込みであり、本虫の発生に好適である。
  
4. ハダニ類
  - 1) 予報内容  
発生程度 多
  - 2) 予報の根拠  
(1) 4月上旬の巡回調査の結果、寄生株率は13.9%(7.3%)、発生圃場数は  
27筆中21筆であった。  
(2) 向こう1か月の気温は平年並か高い見込みであり、本虫の発生に好適である。
  - 3) 防除上注意すべき事項  
(1) 発生初期の防除を徹底する。  
(2) 薬剤のかけむらがあると防除効果が落ちるので、葉裏まで十分に付着するように  
散布する。  
(3) 薬剤感受性が低下しやすいので、同一系統の薬剤は連用しない。

## 【かんきつ】

1. そうか病
  - 1) 予報内容  
発生程度 やや少
  - 2) 予報の根拠  
3月下旬の巡回調査の結果、越冬病葉を認めなかった(越冬病葉率0.1%)。
  
2. かいよう病
  - 1) 予報内容  
発生程度 やや多
  
  - 2) 予報の根拠  
3月下旬の巡回調査の結果、越冬病葉率は0.6%(0.1%)、発生圃場数は  
39筆中6筆であった。
  - 3) 防除上注意すべき事項  
(1) 越冬病斑がみられる園では、新梢への感染を防ぐため展葉初期に薬剤散布を行  
う。  
(2) 薬剤散布に当たっては樹勢に留意し、無機銅水和剤を散布する場合は薬害軽減  
のため炭酸カルシウムを加用する。

### 3. ミカンハダニ

#### 1) 予報内容

発生程度 並

#### 2) 予報の根拠

4月上旬の巡回調査の結果、寄生葉率は2.9%(2.8%)、発生圃場数は39筆中10筆であった。

### 【なし】

### 1. 赤星病

#### 1) 予報内容

発生程度 並

#### 2) 予報の根拠

(1) 4月7日に諫早市で発生を確認した(平年比:早)。

(2) 4月上旬の巡回調査の結果、発生を認めなかった(越冬病葉率 0.0%)。

### 2. アブラムシ類

#### 1) 予報内容

発生程度 並

#### 2) 予報の根拠

(1) 4月上旬の巡回調査の結果、発生を認めなかったが(寄生新梢率 0.6%)、複数の地区で発生の情報提供があった。

(2) 気象予報によると、向こう1か月間の気温は平年並か高い見込みであり本虫の発生に好適である。

### 【茶】

### 1. カンザワハダニ

4月14日付け平成16年度病害虫発生予察 注意報第1号による。

### 2. クワシロカイガラムシ

4月15日付け平成16年度病害虫発生予察 注意報第2号による。

### < 3月中旬～4月上旬の天気概況 >

3月中旬: 高気圧に覆われて晴れの日が多く、16日には暖かい空気の流れ込みもあって4月下旬から5月上旬の暖かさとなり、旬の平均気温は平年比+1.6～+2.5とかなり高かった。また、日照時間は平年比102～153%と平年を上回った。17日には寒冷前線が通過したため、巖原で42mm、芦辺で38mmの日降水量を観測したが、旬の降水量は各地で平年比30～88%に留まった。

3月下旬: 高気圧に覆われて晴れの日が多く、平均気温は平年比+0.9～+1.7とかなり高く、日照時間は平年比130～166%と多かった。21～22日と30日には、低気圧の影響でまとまった雨となり、30日には有川で日降水量75mmを観測した。さくら(ソメイヨシノ)の開花が22日に巖原(平年28日、昨年23日)で、23日に長崎(平年25日、昨年19日)で、26日に福江(平年28日、昨年22日)で観測された。

4月上旬: 移動性高気圧に覆われて晴れの日が多く、日照時間は各地で平年比111～147%と多く、気温は-0.3～+0.5と平年並だった。低気圧の通過により、1日に福江69mm、有川53mmの日降水量を観測したが、旬の降水量は各地で平年比29～86%と平年を下回った。さくら(ソメイヨシノ)の満開が2日に長崎(平年4月3日、昨年3月29日)および巖原(平年4月4日、昨年3月30日)で、3日に福江(平年4月4日、昨年3月31日)観測された。

地点別・要素別階級表 (長崎県農業気象速報)

要素・地点		長崎	福江	厳原	佐世保	平戸
平均気温 ( )	3:中	12.8(10.4) かなり高い	12.3(10.3) かなり高い	11.3(9.2) かなり高い	13.0(10.0) かなり高い	12.1(9.5) かなり高い
	3:下	13.1(11.8) かなり高い	12.8(11.5) かなり高い	11.6(10.5) 高い	13.1(11.4) かなり高い	12.0(10.7) かなり高い
	4:上	13.5(13.6) 平年並	12.9(13.1) 平年並	12.6(12.2) 平年並	13.0(13.2) 平年並	12.5(12.2) 平年並
降水量 (mm)	3:中	24.5(43.3) 平年並	31.0(61.3) 少ない	42.0(53.1) 平年並	14.0(45.4) 少ない	20.5(51.3) 少ない
	3:下	77.0(52.6) 多い	103.5(68.8) 多い	56.5(51.3) 平年並	66.5(48.6) 多い	84.0(54.5) 多い
	4:上	26.5(56.7) 少ない	71.5(73.9) 平年並	34.0(62.6) 少ない	18.5(51.2) 少ない	32.5(58.8) 平年並
日照時間 (h)	3:中	52.0(48.0) 平年並	55.6(44.1) 多い	60.9(47.8) 多い	59.5(50.5) 多い	63.0(46.7) 多い
	3:下	64.1(50.5) 多い	67.1(48.2) 多い	64.4(51.0) 多い	70.9(53.8) 多い	63.8(51.6) 多い
	4:上	77.7(55.5) かなり多い	73.3(53.5) 多い	64.0(56.7) 多い	76.1(57.7) 多い	73.2(55.4) 多い

( ) は平年値